

さいたま市立白幡中学校

感染症予防のため 液体石けんに変更

さいたま市では、2001年度以降学校トイレの自動水栓化を進めています。当時は、節水の観点からでしたが、現在は非接触による感染症予防に重点が置かれています。白幡中学校もトイレ改修に伴い、トイレ内の手洗いは自動水栓化。「新型コロナウイルス感染症が流行している今、非接触の蛇口にしてもらって本当によかったと思っています」（長島淑子校長）

白幡中学校では、感染症予防のため、トイレの石けんを固形石けんから液体石けんに変えています。「菌やウイルスの付着した石けんを、次の生徒が使うと感染が怖いですからね」（長島校長）

また、湿式の床が乾式になったことも感染症対策につながっているそうです。

「普段は生徒が清掃しますが、コロナ禍で教員が担当。湿式の床掃除は、手袋をはめての作業で大変でした」（金子慎一郎教頭）

古いトイレでは清掃してもなかなかきれいにならず、生徒のやる気にも影響する、と長島校長。新しいトイレは生徒たちの清掃への関心も高めてくれそうです。



2階女子トイレ。ゆとりブース(手前右)は、弧を描くようにスライドする回転式ドアにし、広いスペースを確保。



(上)2階女子トイレ。衛生性を考慮し、手洗いは自動水栓化。車いすの人も使いやすいように洗面台の下はスペースを確保。(右)1階トイレ入り口。わかりやすいみんなのトイレのサイン。



職員女子トイレは温水洗浄便座を設置。中折れ式のドアをはじめ、木目調のブースで温かみのある空間に。



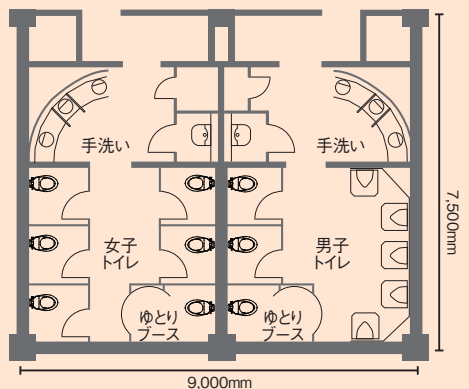
1階みんなのトイレ。オストメイト対応設備に加え、ペーパーチェアやおむつ交換用の設備も設けられている。



2階男子トイレ。衛生性、清掃性を高めるため、壁掛け小便器を採用。床には、防汚性の高い汚垂石を設置。

さいたま市立白幡中学校 DATA

名称：さいたま市立白幡中学校
所在地：埼玉県さいたま市南区白幡2-18-13
生徒数：697名(2021年4月)
施工主：さいたま市
設計：竹内建築設計事務所
施工：建築＝栗原工務店、機械設備＝新研設備工業
竣工年月：2016年10月(改修)



2F
男女トイレ

男女ともトイレ内の一番奥にゆとりブースを設置した。ゆとりブース以外も広々として快適。曲線が印象的な手洗いも男女共通。



写真左から、建築局建築部設備課課長補佐 齊藤克巳さん／建築局建築部営繕課課長補佐兼教育施設係長 原田雅哉さん／教育委員会管理部学校施設課施設第1係係長 森田賢一さん／教育委員会管理部学校施設課施設第2係係長 築館淳さん